

札幌国際芸術祭を通じて

未来を創造する

講演：佐々木雅幸

2025

8.24 (日)

10:30~12:30

札幌市図書・情報館 1Fサロン

2025

8.24(日)

10:30~12:30

アートでひらく都市戦略

札幌国際芸術祭を通じて未来を創造する

札幌市図書・情報館 1F サロン
(札幌市中央区北1条西1丁目札幌市民交流プラザ内)

参加費無料

参加申し込みフォーム



定員:50名(先着順)

本講演会では、文化芸術が都市の価値や魅力を高め、地域の持続可能な発展を推進する力を有している点に着目し、札幌が国際芸術祭を通じて創造都市としていかに発展していけるのかを探ります。

第1部では、「創造都市」概念を起点に、国際的な展開、日本国内における政策的動向を俯瞰しつつ、文化芸術を核とした都市戦略の意義や可能性を提示します。

第2部では、芸術祭を通じた都市戦略やクリエイティブ産業の振興に向けた取組について議論を深めます。創造的資源を活かした都市の持続的発展に向けて、札幌が創造都市としてどのような可能性を有しているのか、その将来像を多角的に検討します。

登壇者

講演：佐々木雅幸

大阪市立大学名誉教授 大阪大学招聘教授

第1部ディスカッション：漆 崇博

札幌国際芸術祭2027 スクールディレクター/
一般社団法人AISプランニング代表理事

第2部ディスカッション：山口 康広

札幌国際芸術祭実行委員会事務局 事務局長
(札幌市市民文化局国際芸術祭担当部長)

総合司会：関 鎮京

北海道教育大学岩見沢校
芸術文化政策研究室 准教授

プログラム

10:30-11:15 第1部

1. 創造都市とは何か
2. 創造都市をめぐる世界的潮流と日本の現状

11:15-11:30 質疑応答

11:30-12:15 第2部

3. 札幌国際芸術祭の背景と創造都市としての位置付け
4. 創造都市の実現に向けた札幌国際芸術祭の展望

12:15-12:30(予定) 質疑応答



佐々木雅幸 ささき・まさゆき

大阪市立大学名誉教授・大阪大学招聘教授、博士(経済学・京都大学)

創造都市研究の第一人者として、日本およびアジアにおける創造都市政策の推進に尽力し、ユネスコ創造都市ネットワークや全国各地の創造都市の取組を支援。

文化経済学会<日本>では2008年度から2010年度まで会長を務め、現在は顧問を務める。2010年には国際学術誌『City, Culture & Society』をElsevier社から創刊し、初代編集長として4年間編集業務を担う。金沢大学在職中は地域経済論を担当し、石川県内各地の内発的発展を支援。特に金沢市では市長アドバイザーとして、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟を推進。創造都市推進委員会副会長として、2015年の創造都市総会(金沢)開催を成功に導き、2020年に金沢市文化賞を受賞。神戸市、名古屋市、札幌市、浜松市、丹波篠山市、山形市、岡山市などのネットワーク加盟支援にも携わり、2019年に山形市長より感謝状を受ける。

大阪市立大学では大学院創造都市研究科および都市研究プラザの立ち上げに参画。2007年度からは文部科学省グローバルCOE「文化創造と社会的包摂に向けた都市の再構築」拠点リーダーを務める。同志社大学では私立大学戦略的研究により創造経済研究センターの立ち上げを支援。文化庁では、京都分室にて文化芸術創造都市振興室長、地域文化創生本部にて主任研究官を歴任。文化庁の京都移転、国立工芸館の金沢移転を推進。

受賞歴として、1999年に金沢市文化活動賞、2003年に日本都市学会賞(『創造都市への挑戦』に対して)、2020年に金沢市文化賞を受賞。

主催 / 札幌市、北海道教育大学岩見沢校

問い合わせ / 関 鎮京 : min.jinkyung@i.hokkyodai.ac.jp(北海道教育大学岩見沢校 芸術文化政策研究室)

デザイン : 中丸涼乃(北海道教育大学岩見沢校 美術文化専攻 ビジュアルデザイン研究室 3年生)